

VI 教育委員会の事務の点検及び評価シート

1 事務の点検及び評価

		担 当 課	学校教育課																		
事業名	教育委員会運営事業																				
関連する重点施策	—																				
事業の意図	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が義務付けられており、教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会です。この教育委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。																				
【主な実施内容】																					
<p>教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。</p> <p>(1) 定例会 12回（月1回）開催しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 議事</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>イ 議案</td> <td>57件</td> </tr> <tr> <td> (ア) 人事関係</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td> (イ) 予算関係</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td> (ウ) 条例、規則等</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td> (エ) 後援名義使用許可</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td> (オ) 表彰、褒賞等</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td> (カ) その他</td> <td>6件</td> </tr> </table> <p>(2) 臨時会 1回（4月）開催しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>議事</td> <td>1件</td> </tr> </table>				ア 議事	0件	イ 議案	57件	(ア) 人事関係	16件	(イ) 予算関係	7件	(ウ) 条例、規則等	11件	(エ) 後援名義使用許可	7件	(オ) 表彰、褒賞等	10件	(カ) その他	6件	議事	1件
ア 議事	0件																				
イ 議案	57件																				
(ア) 人事関係	16件																				
(イ) 予算関係	7件																				
(ウ) 条例、規則等	11件																				
(エ) 後援名義使用許可	7件																				
(オ) 表彰、褒賞等	10件																				
(カ) その他	6件																				
議事	1件																				
【総合評価】																					
<p>教育委員会は、地方分権の進展による責任の増大、政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、文化・スポーツの振興といった多くの課題を抱えています。</p> <p>このため、現場の意見に基づいた議論を行う必要があり、各種会議・行事等に参加し、意見交換や現地の状況を確認するなど、活発な活動を通じて引き続き教育行政の推進に努める必要があります。</p> <p>なお、児童生徒の保護者を含む町民に対して、開かれた教育委員会とするため、教育委員会の活動内容について情報を提供することが、ますます重要となってきています。</p>																					
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】																					
今後も継続して実施していきます。																					

事業名	教育振興一般管理事業
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成 (3)学校、家庭、地域社会との連携 (7)児童生徒の安全指導
事業の意図	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。

【主な実施内容】

- (1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。
- (2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。
- (3) 小学校の状況（令和3年5月1日現在）

ア 東郷小学校	児童数	461人、学級数	19学級、教職員数	35人
イ 春木台小学校	児童数	463人、学級数	18学級、教職員数	33人
ウ 諸輪小学校	児童数	358人、学級数	17学級、教職員数	30人
エ 音貝小学校	児童数	449人、学級数	17学級、教職員数	29人
オ 高嶺小学校	児童数	484人、学級数	19学級、教職員数	38人
カ 兵庫小学校	児童数	576人、学級数	22学級、教職員数	39人
計	児童数	2,791人、学級数	112学級、教職員数	204人
- (4) 中学校の状況（令和3年5月1日現在）

ア 東郷中学校	生徒数	440人、学級数	15学級、教職員数	37人
イ 春木中学校	生徒数	729人、学級数	25学級、教職員数	56人
ウ 諸輪中学校	生徒数	282人、学級数	11学級、教職員数	30人
計	生徒数	1,451人、学級数	51学級、教職員数	123人
- (5) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。
- (6) スクールソーシャルワーカー2名を学校教育課に配置しました。
- (7) 会計年度任用職員を配置しました。

ア 一般事務	3名（学校教育課配置）
イ 学校教育専門員	1名（学校教育課配置）
ウ 養護教諭補助員	3名（小中学校巡回）
- (8) 外国語指導助手（JETプログラム）を7名小中学校に配置しました。

【総合評価】

学校だけでは対応が困難な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題解決の支援を行いました。しかし、児童生徒を取り巻く問題は様々あり、問題解決するまでには長期化するものもあります。1つでも多くの問題を解決するために、スクールソーシャルワーカーに負担が掛からないように事業を継続して実施していく必要があります。

また、令和6年度末までに学校運営協議会を全小中学校に導入するため、高嶺小学校をモデル校として先行導入しました。

【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】

スクールソーシャルワーカーへの相談件数が増加傾向にあり、また、内容も複雑化する中、スクールソーシャルワーカー1人当たりの負担が増していることから、1名増員して3名体制とします。また、教員の働き方改革を推進するため、スクール・サポート・スタッフの導入を検討します。

事業名	適応指導事業
関連する重点施策	(4)生徒指導の充実
事業の意図	不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。
【主な実施内容】	
<p>(1) 「ハートフル東郷」を開設しました。</p> <p>ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。</p> <p>(7) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。</p> <p>(4) 基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。</p> <p>(9) 対人関係の広がりを支援し、集団への適応力を育成しました。</p> <p>(1) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。</p> <p>イ 運営時間 午前9時から午後3時まで（月曜日から金曜日）</p> <p>ウ 通室者数 7人〔町内小中学校不登校児童生徒数123人（R3年度不登校児童生徒状況調査）〕</p> <p>(2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。</p>	
【総合評価】	
ハートフル東郷に通室している児童生徒を含め、不登校の児童生徒に対し、学校生活へ復帰ができるよう引き続き家庭、学校、地域などと連携を密にしながら支援していく必要があります。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
今後も継続して実施していきます。	

事業名	生徒指導事業
関連する重点施策	(4)生徒指導の充実
事業の意図	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 生徒指導推進協議会 3中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。</p> <p>(2) スクールカウンセラー ア 【小学校】 6小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、児童等からの相談を受けました。(児童等相談件数 376件 参考：R2年度311件、R元年度419件、H30年度391件、H29年度333件) 年間相談時間 416時間(208時間×2人) イ 【中学校】 3中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、生徒等からの相談を受けました。(生徒等相談件数 341件 参考：R2年度594件、R元年度626件、H30年度833件、H29年度1,217件) 年間相談時間 624時間(208時間×3人)</p> <p>(3) 心の教室相談員 小中学校に計9名(東郷中学校2名、春木中学校2名、諸輪中学校2名、諸輪小学校1名、音貝小学校1名、高嶺小学校1名)の心の教室相談員を配置し、児童生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 中学校生徒等相談件数 421件 勤務時間数 東郷中学校 218.5時間、春木中学校 324時間、諸輪中学校 443時間 小学校児童等相談件数 166件 勤務時間数 諸輪小学校 128時間、音貝小学校 174時間、高嶺小学校 266時間</p> <p>(4) スクールサポーター 不登校傾向又は軽度発達障がい等で集団での授業に参加できない児童生徒及びその他の教育活動に支援を必要としている児童生徒に対し、将来教職に就きたいと考えている大学生を小学校に合計5名配置しました。 勤務日数 小学校 132日</p>	
【総合評価】	
児童生徒の問題行動の発生を事前に把握することは難しいですが、スクールカウンセラーに加え、お兄さん、お姉さんの立場の心の教室相談員を配置し、児童生徒がいつでも気軽に相談できる体制が整備され、多くの相談がありました。また、教職を目指す学生にスクールサポーターとして協力してもらい、児童生徒にとってより良い学校生活となるため支援していきます。	
【本年度(令和4年度)以降の改善内容・方向性】	
心の教室相談員への応募が少なく、人員が確保できていないため、心理学部を設置している大学を訪問し、募集案内を学生に周知していただくよう働きかけます。	

事業名	高等学校等教育振興事業
関連する重点施策	—
事業の意図	保護者負担を軽減し、公私立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。
【主な実施内容】	
令和3年10月1日時点で私立高等学校等に生徒が在籍しており、かつ同日時点で町内に在住し、授業料の自己負担分が10,000円以上ある保護者に対して、生徒1人当たり年額10,000円を補助しました。	
(1) 補助実施生徒数 338人	
(2) 補助実施生徒在籍学校数 65校	
【総合評価】	
今後も授業料の格差を是正するために本事業を継続する必要があります。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
今後も継続して実施していきます。	

事業名	小中学校保健事業
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成
事業の意図	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。
【主な実施内容】	
<p>1 小中学校保健一般事業</p> <p>(1) 児童生徒健診（小学校2,791人、中学校1,451人） 尿（2回）、心電図（小学校1・4年生、中学校1年生）、血液検査（中学校2年生）、胸部X線（結核精密検査該当者 小学校7人）</p> <p>(2) 教職員健診（小学校199人、中学校120人） 胃（35歳以上）、尿、胸部X線（結核）、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科、眼底（35歳以上）</p> <p>(3) 産業医の委託（春木中1名）</p> <p>2 小中学校学校医等設置事業</p> <p>(1) 学校医 内科検診（児童生徒、教職員）と就学時健診（小学校入学前） 眼科分（小学校2・3・5・6年生、中学校2・3年生）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>(2) 歯科医 歯科検診（児童生徒）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>(3) 耳鼻科医 耳鼻科検診（小学校1・4年生、中学校1年生）</p> <p>(4) 眼科医 眼科検診（小学校1・4年生、中学校1年生）</p> <p>(5) 薬剤師 環境測定</p>	
【総合評価】	
<p>健康診断により疾病・異常を早期に発見し、予防措置を施し、治療に役立っています。今後も学校保健安全法等に基づき継続していく必要があります。</p> <p>なお、令和3年度から、血液検査（中学校2年生）の検査項目に血糖を追加しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大のためプールの実施がなくなったため、それに伴い薬剤師の水質検査は未実施となります。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>養護教諭が保健室外にいる際の、緊急連絡の手段を確保するため、携帯電話を全校に配備します。</p> <p>その他は、今後も継続して実施していきます。</p>	

事業名	小中学校維持管理事業
関連する重点施策	(8)学校施設等の整備
事業の意図	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 小中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。</p> <p>ア 小中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（小学校22件、中学校16件）を実施しました。</p> <p>①学校施設警備業務 ②自家用電気工作物保守点検業務 ③昇降機保守点検業務 ④消防用設備等保守点検業務 ⑤浄化槽保守点検業務 ⑥ごみ収集運搬業務 ⑦学校植栽維持管理業務 ⑧学校施設清掃業務 ⑨兵庫小学校維持管理業務 ⑩遊具体育用具保守点検業務 ⑪ガス空調設備保守点検業務 ⑫体育館ワックス塗布 など</p> <p>イ 小中学校に会計年度任用職員を配置しました。</p> <p>①学校用務員（小学校6人、中学校3人）、②学校給食配膳員（小学校6人、中学校3人） ③非常勤講師（小学校8人、中学校6人）、④学校生活支援員（小学校43人、中学校9人） ⑤学校生活介護員（小学校2人） ⑥学校図書館司書教諭補助員（小学校6人、中学校3人）</p> <p>(2) 小中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。</p> <p>ア トイレ等改修工事（諸輪小学校南校舎） イ トイレ等改修工事設計業務（諸輪小学校南校舎） ウ トイレ等改修工事監理業務（諸輪小学校南校舎） エ 屋上防水改修工事（東郷小学校西校舎及び東校舎） オ 屋上防水改修工事設計業務（東郷小学校西校舎及び東校舎） カ 屋上防水改修工事監理業務（東郷小学校西校舎及び東校舎） キ 防火設備改修工事（東郷小学校西校舎外1） ク 架空電線取替工事（春木台小学校） ケ バスケットゴール昇降装置修繕工事（東郷中学校） 始め25件</p>	
【総合評価】	
今後、老朽化の進む施設の更新、改修に係る工事費等の急増が見込まれるため、平成29年度に策定した長寿命化計画に沿って修繕を行う必要があります。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
施設の改修を計画的に進めていく中で、春木台小学校及び春木中学校のトイレ洋式化改修工事を行います。	

事業名	小中学校運営事業																																				
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成 (2)基本的な生活習慣の定着と道徳教育の充実 (3)学校、家庭、地域社会との連携 (6)情報化、国際化に対応した教育の推進																																				
事業の意図	小中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。																																				
【主な実施内容】																																					
<p>(1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、外部講師の謝礼、部活動に対する補助を行いました。</p> <p>(2) 学校評議員を37名委嘱し、学校評議員会を年間延べ17回開催し、延べ67人が出席しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">東郷小学校</td> <td style="width: 10%;">4名</td> <td style="width: 10%;">2回</td> <td style="width: 25%;">東郷中学校</td> <td style="width: 10%;">5名</td> <td style="width: 10%;">2回</td> </tr> <tr> <td>春木台小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td>春木中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>諸輪小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td>諸輪中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>音貝小学校</td> <td>5名</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高嶺小学校</td> <td>3名</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫小学校</td> <td>4名</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 外国人英語指導業務 1人の外国人の指導助手を週代わりで小学校に配置しました。</p>		東郷小学校	4名	2回	東郷中学校	5名	2回	春木台小学校	4名	2回	春木中学校	4名	2回	諸輪小学校	4名	2回	諸輪中学校	4名	2回	音貝小学校	5名	1回				高嶺小学校	3名	1回				兵庫小学校	4名	3回			
東郷小学校	4名	2回	東郷中学校	5名	2回																																
春木台小学校	4名	2回	春木中学校	4名	2回																																
諸輪小学校	4名	2回	諸輪中学校	4名	2回																																
音貝小学校	5名	1回																																			
高嶺小学校	3名	1回																																			
兵庫小学校	4名	3回																																			
【総合評価】																																					
総合的な学習の時間などで地域社会との交流、国際理解などの学校単位での特色ある学習が増えてきています。また、地域に開かれた学校づくりを一層推進し、保護者や地域住民の協力を得て、学校運営に関する意見を広く求めながら、学校としての説明責任を果たしていくために学校評議員制度を今度も活用していく必要があります。																																					
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】																																					
令和2年度及び令和3年度からの教科書改訂において、不足している教員用指導書や教材備品を各学校の状況を見ながら、整備していきます。																																					

事業名	小中学校図書館整備事業										
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成 (8)学校施設等の整備										
事業の意図	各学校の蔵書数を文部科学省の定める学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。										
【主な実施内容】											
(1) 蔵書状況											
	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率						
東郷小学校	222冊	202冊	10,780冊	10,560冊	102%						
春木台小学校	282冊	150冊	10,292冊	10,360冊	99%						
諸輪小学校	223冊	320冊	9,581冊	9,960冊	96%						
音貝小学校	393冊	500冊	10,817冊	9,960冊	109%						
高嶺小学校	448冊	474冊	12,009冊	10,560冊	114%						
兵庫小学校	145冊	0冊	12,225冊	11,160冊	110%						
計	1,713冊	1,646冊	65,704冊	62,560冊							
東郷中学校	546冊	717冊	13,005冊	12,160冊	107%						
春木中学校	484冊	0冊	16,713冊	15,840冊	106%						
諸輪中学校	495冊	413冊	9,606冊	10,160冊	95%						
計	1,525冊	1,130冊	39,324冊	38,160冊							
(2) 年間貸出冊数											
東小	春小	諸小	音小	高小	兵小	計	東中	春中	諸中	計	
6,559	10,560	8,635	11,433	9,057	24,664	70,908	1,797	7,082	663	9,542	
【総合評価】											
総合的な学習の時間など、様々な分野の学習が求められており、学校図書館の充実及びより広範囲な図書の選定などが求められています。また、本に親しむことは、心豊かな児童を育てる上で欠かせない要素であり、今後も標準冊数を維持できるように計画的な整備を実施していく必要があります。											
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】											
学校教育環境の整備・充実を図るために、学校図書室の貸出事務の電算化を検討します。											

事業名	小中学校特別支援教育奨励事業					
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成					
事業の意図	障がいのある児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ります。					
【主な実施内容】						
特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。						
(1) 支給人数 小学校57人、中学校25人						
(2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費						
(3) 費目別支給金額						
	区分	学用品費	学校給食費	新入学用品費	校外活動費	修学旅行費
	小学校	277,020円	1,015,420円	255,550円	39,780円	86,531円
	中学校	250,140円	422,460円	289,900円	19,710円	211,118円
【総合評価】						
教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき事業を実施しています。この制度について、正確に保護者に周知する必要があります。						
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】						
特にありません。						

事業名	小中学校就学援助事業																																		
関連する重点施策	(1)「生きる力」の育成																																		
事業の意図	経済的な事情により就学困難な児童生徒の保護者を援助することにより、すべての児童が安心して義務教育を受けることができますようにします。																																		
【主な実施内容】																																			
<p>町立小中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。</p> <p>また、令和4年度小学校入学予定者及び中学校入学予定者に対し、新入学用品費を入学前に支給しました。</p> <p>(1) 支給人員 小学校143人（うち、16人は令和4年度小学校入学予定者）、中学校82人</p> <p>(2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム等購入費、PTA会費</p> <p>(3) 費目別支給金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 35%;">小学校</th> <th style="width: 35%;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学用品費</td> <td>1,376,510円</td> <td>1,839,240円</td> </tr> <tr> <td>②通学用品費</td> <td>227,060円</td> <td>124,850円</td> </tr> <tr> <td>③学校給食費</td> <td>4,260,300円</td> <td>2,896,100円</td> </tr> <tr> <td>④新入学用品費</td> <td>459,540円</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>⑤校外活動費</td> <td>377,279円</td> <td>457,336円</td> </tr> <tr> <td>⑥修学旅行費</td> <td>558,245円</td> <td>1,003,915円</td> </tr> <tr> <td>⑦卒業アルバム等購入費</td> <td>135,400円</td> <td>227,400円</td> </tr> <tr> <td>⑧PTA会費</td> <td>178,360円</td> <td>137,250円</td> </tr> <tr> <td>⑨生徒会費</td> <td>—</td> <td>33,258円</td> </tr> <tr> <td>⑨入学前支給</td> <td>1,956,960円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			区分	小学校	中学校	①学用品費	1,376,510円	1,839,240円	②通学用品費	227,060円	124,850円	③学校給食費	4,260,300円	2,896,100円	④新入学用品費	459,540円	240,000円	⑤校外活動費	377,279円	457,336円	⑥修学旅行費	558,245円	1,003,915円	⑦卒業アルバム等購入費	135,400円	227,400円	⑧PTA会費	178,360円	137,250円	⑨生徒会費	—	33,258円	⑨入学前支給	1,956,960円	—
区分	小学校	中学校																																	
①学用品費	1,376,510円	1,839,240円																																	
②通学用品費	227,060円	124,850円																																	
③学校給食費	4,260,300円	2,896,100円																																	
④新入学用品費	459,540円	240,000円																																	
⑤校外活動費	377,279円	457,336円																																	
⑥修学旅行費	558,245円	1,003,915円																																	
⑦卒業アルバム等購入費	135,400円	227,400円																																	
⑧PTA会費	178,360円	137,250円																																	
⑨生徒会費	—	33,258円																																	
⑨入学前支給	1,956,960円	—																																	
【総合評価】																																			
<p>学校教育法、就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき事業を実施しています。経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより、義務教育就学の円滑化を図ることができるため、今後も継続していく必要があります。</p> <p>なお、就学援助対象費目に、オンライン学習に必要な通信費を新たに追加し、援助の一層の充実を図りました。</p> <p>今後も引き続き、本事業の主旨について、全保護者に対し周知していく必要があります。</p>																																			
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】																																			
申請手続きの簡素化を進めます。																																			

事業名	小中学校情報教育推進事業
関連する重点施策	(6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備
事業の意図	全小中学校のコンピュータ教室の児童用コンピュータを効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童生徒がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。
【主な実施内容】	
<p>全小中学校の児童生徒1人に1台の学習用タブレット端末を利用し、ICTを効果的に活用した教育を実施しました。</p> <p>(1) 学習用タブレット端末の台数 (小学校2,791台、中学校1,451台)</p> <p>(2) 学習用タブレット端末の効果的な利活用に向けたサポート ICT支援員 2名を配置 (小学校1名、中学校1名)</p> <p>(3) 大型提示装置の整備 全小中学校の普通教室等に設置 (小学校129名、中学校65名)</p> <p>(4) 安定した学習用タブレット端末の運用</p> <p>ア インターネット接続サービスの利用</p> <p>イ 各種アカウントの管理及び更新</p> <p>ウ 卒業、入学に伴う学習用タブレット端末の移動</p> <p>エ 新規導入アプリの登録</p>	
【総合評価】	
<p>GIGAスクール構想の実現に向けて、タブレット端末を積極的に活用した授業を推進する必要があります。そのため、全小中学校の普通教室等に大型提示装置を設置し、促進を図りました。また、新学習指導要領に基づいたタブレット端末を使った効果的な授業に関する研修について、ICT支援員を積極的かつ効果的に活用する必要があります。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>今後は、家庭学習においても、タブレット端末に導入した学習支援ソフト等を活用し、学校の臨時休校等非常時においても学びを保障するための検討をする必要があります。</p>	

事業名	社会教育振興事業・各種教室開催事業
関連する重点施策	1 生涯学習活動の充実
事業の意図	1 社会教育振興事業 生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。 2 各種教室開催事業 興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。
【主な実施内容】	
<p>1 社会教育振興一般事務事業</p> <p>(1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年2回） 印刷部数：2021 秋号 18,400 部 2022 春号 18,400 部</p> <p>(2) 「東郷の教育」の作製 データをホームページに掲載した。</p> <p>(3) 生涯学習講座の講師登録者数 新規で7人登録がありました。</p> <p>(4) ボランティア活動等主催者保険に加入しました。 加入団体：社会教育関係団体5団体</p> <p>2 各種教室開催事業 各種教室数 8教室 年間受講者延べ人数 332人</p>	
【総合評価】	
<p>1 社会教育振興事業 生涯学習情報誌「ジョイフル」を2回刊行することができました。 「東郷の教育」については、教育委員会の1年間の事業等の記録を作成し、価値のある資料を作成することができました。</p> <p>2 各種教室開催事業 各種教室については、コロナ禍において8教室開催することができました。 町民のニーズにあった講座を企画できるよう、情報収集等に努める必要があります。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
町民のニーズを把握し、幅広いジャンルの講師を招いて教室を実施していきます。	

事業名	青少年健全育成事業・家庭教育等推進事業
関連する重点施策	2 青少年の健全育成と家庭教育の充実
事業の意図	<p>1 青少年健全育成事業 東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。</p>
【主な実施内容】	
<p>青少年健全育成事業</p> <p>(1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布を実施しました。</p> <p>ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰（令和3年11月7日表彰式） 青少年の部 19人 青少年指導者の部 2人 青少年団体の部 1団体</p> <p>イ 啓発資材作成及び掲示（11月中） のぼり、ポケットティッシュ</p> <p>(2) 少年補導委員事業 少年補導員7人による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。（10日程度/月）</p> <p>2 家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。</p>	
【総合評価】	
<p>1 青少年健全育成事業 優良青少年・指導者等の表彰式を11月の第1日曜日とし、中学校及び高校の試験期間と重ならないように開催しました。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 6小学校でそれぞれ工夫し開催することで、講座を通して親同士の交流や家庭教育に関する情報交換を行う機会となっています。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>青少年の健全育成に関わる方々を幅広く推薦していただくため、青少年健全育成会の地区長からのみであった顕彰者の推薦について、役員からも推薦いただけるよう検討します。</p>	

事業名	公民館文化ふれあい事業・音楽祭開催事業 町民会館文化ふれあい事業・文化団体育成事業
関連する重点施策	3 文化・芸術の振興
事業の意図	<p>1 公民館文化ふれあい事業 身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。</p> <p>2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくります。</p> <p>3 町民会館文化ふれあい事業 町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。</p> <p>4 文化団体育成事業 団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 公民館文化ふれあい事業</p> <p>(1) コンサートへの誘い 第79回 上野耕平サクソフォンコンサート</p> <p>(2) レクチャー・ミニコンサート 2回開催（ほかのミニコンサートは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。）</p> <p>(3) 町民大学講座（ミニ文化講演会） 1回開催（ほかの講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。）</p> <p>2 音楽祭開催事業 ソロ・アンサンブルの部は開催しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、合唱の部、吹奏楽の部は中止しました。</p> <p>3 町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。 「アルゼンチンタンゴ2021～進化を続ける情熱たち～」 （ほかの事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。）</p> <p>4 文化団体育成事業</p> <p>(1) 文化協会育成推進事業 文化協会の運営活動に助言・支援を行いました。 ア 加盟団体数 24 団体 イ 各部の活動回数 487 回</p> <p>(2) 東郷音頭保存会育成事業 東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。</p>	

ア 会員数 82 人
イ 自主活動回数 45 回

【総合評価】

- 1 公民館文化ふれあい事業
コンサートへの誘いは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数を制限して開催しました。
レクチャー・ミニコンサートは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4回のうち2回開催を中止しました。
- 2 音楽祭開催事業
第29回合唱祭in TOGO、吹奏楽の部は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止としましたが、町民が日頃の成果を発表できる機会の一つとして、今後も引き続き音楽祭を開催していきます。
- 3 町民会館文化ふれあい事業
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、演劇、講演会を中止としましたが、今後も様々な芸術文化に触れていただけるよう、事業を企画していきます。
- 4 文化団体育成事業
文化協会では、今後も各部が活発に活動していけるよう、若い世代の加入を促し、後継者を育成することが必要です。
伝統文化発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業や活動を再開していきます。

事業名	歴史民俗資料事業
関連する重点施策	4 郷土資料館の充実
事業の意図	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。
【主な実施内容】	
<p>歴史民俗一般管理事業</p> <p>(1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開館し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。 また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。</p> <p>(2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー 音貝小学校 1回開催 合計77名が参加しました。 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明</p> <p>(3) 新収蔵品 民俗資料 自転車、わかしゃち国体スタンプ、突きウゲ、荷物運搬用かご、東郷村土地宝典、写真、一斗マス、斗かき棒</p> <p>(4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種</p>	
【総合評価】	
収蔵品を十分に活用するためには、資料の整理と検索性の向上が必要です。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
収蔵品の整理を進め、広く活用していただけるようにします。また、適宜常設展示の入替えを行うとともに、企画展の実施についても検討していきます。	

事業名	文化財保護事業
関連する重点施策	5 文化財の保護と継承
事業の意図	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるように保存していきます。
【主な実施内容】	
<p>文化財保護事業</p> <p>(1) 文化財保護委員会関係事業 町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるように文化財保護委員会を3回開催（1回は書面開催）しました。 また、町指定文化財管理状況の視察は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p> <p>(2) 文化財講座等事業</p> <p>ア 文化財めぐり 町民に町内の文化財を知っていただくため、文化財めぐりを開催しました。 期 日 令和3年10月30日（土） 講 師 近藤 鈔 氏（東郷町文化財保護委員） 場 所 祐福寺、観音寺 外 参加者 10人</p> <p>イ 歴史講座 「尾張徳川家の3人の姫君」 期 日 令和3年6月30日（水）、7月7日（水）、7月21日（水） 講 師 吉川 美穂氏（徳川美術館 学芸員） 参加者 11人</p> <p>(3) 文化財保存事業</p> <p>ア 町指定無形民俗文化財の保存及び伝承育成のため、活動に対し補助を行いました。 イ 県指定文化財である祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。 ウ 町指定天然記念物「アヰマキ」保存管理に対し補助を行いました。 エ 傍示本春日社の「懸仏」を町指定文化財として指定しました。</p> <p>(4) その他 伝統文化発表会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p>	
【総合評価】	
<p>後世まで文化財を残すために、適切に管理・保護していく必要があります。 また、東郷町の歴史を紡いでいくため、当時をよく知る方から、当時の暮らしやまちの様子などについて聞き取り調査等を行うことも重要です。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>歴史や文化財、郷土に興味を持っていただくことは、文化財保護につながると考えられるため、文化財保護委員と協力しながら、講座の開催や聞き取り調査等を行っていきます。</p>	

事業名	図書館管理運営事業
関連する重点施策	6 図書館活動の推進
事業の意図	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄れ、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。
【主な実施内容】	
<p>図書館管理運営事業</p> <p>(1) 図書館管理運営事業</p> <p>ア 図書館法第14条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。</p> <p>(7) 図書館協議会委員数 8名</p> <p>(4) 図書館協議会開催回数 年1回</p> <p>イ 図書館の利用状況</p> <p>(7) 図書館開館日数 286日</p> <p>(1) 利用者数 29,389人</p> <p>(ウ) 入館者数 74,705人</p> <p>(エ) 貸出冊数 130,954冊</p> <p>ウ 図書館の蔵書数 計124,811冊</p> <p>(7) 一般書 74,735冊</p> <p>(1) 児童書 38,486冊</p> <p>(ウ) 参考資料 806冊</p> <p>(エ) 郷土資料 4,470冊</p> <p>(オ) 点字資料 332冊</p> <p>(カ) 紙芝居 1,295冊</p> <p>(キ) ビデオ・DVD 438冊</p> <p>(ク) 雑誌 4,249冊</p> <p>(2) 指定管理者制度</p> <p>平成30年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設運営管理を実施しました。</p> <p>ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>イ 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>(3) 指定管理者運営連絡会議</p> <p>東郷町施設サービス株式会社と指定管理事業について協議しました。</p> <p>毎月1回開催</p>	
【総合評価】	
令和3年度はぬいぐるみお泊り会を開催し、子どもたちが図書館や読書に興味を持つような仕掛けを心がけました。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、図書館サービスを実施していきます。	

事業名	各種スポーツ教室開催事業・レガッタ振興事業
関連する重点施策	8-1 スポーツの普及・振興
事業の意図	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。
【主な実施内容】	
<p>1 各種スポーツ教室開催事業</p> <p>(1) ボート体験会（ナックルフォア）</p> <p>ア 開催日 4月10日（土）、6月26日（土）</p> <p>イ 参加者数 16名</p> <p>(2) ボート教室（ナックルフォア）</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p> <p>(3) 日本代表が教えるボート教室</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p> <p>(4) 高嶺小学校 ボート体験学習</p> <p>高嶺小学校の総合的な学習の時間において、6年生児童を対象にボート体験学習を実施しました。</p> <p>ア 開催日 7月6日（火）、7月7日（水）</p> <p>イ 参加人数 80人</p> <p>2 町民レガッタ開催事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p>	
【総合評価】	
<p>1 各種スポーツ教室開催事業</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの各種教室を中止としましたが、高嶺小学校のボート体験学習を実施することができ、少しでもボートに親しんでもらうことができました。</p> <p>2 町民レガッタ開催事業</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>新型コロナウイルス感染対策を講じながら、本町の特色であるボートを活用して、より多くの子ども達にスポーツを体験して楽しんでもらえるような企画を立案し、スポーツ人口の裾野の拡大を図ります。具体的には、小学校のボート体験を高嶺小学校以外の学校でも実施できるよう学校側に働きかける必要があります。</p> <p>町民レガッタは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の観点で、開催方法を見直す必要があります。</p>	

事業名	スポーツ団体育成事業・スポーツ等指導者育成事業・スポーツ事業開催事業
関連する重点施策	8-2 スポーツの普及・振興
事業の意図	<p>スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始める機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。</p> <p>スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。</p> <p>レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 スポーツ団体育成事業 下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。</p> <p>(1) 東郷町スポーツ協会 加盟団体数 17 団体 年間行事開催数 合計 35 回</p> <p>(2) 東郷町ボート協会 構成団体数 1 団体 高嶺小学校ボート体験会に講師を派遣しました（7月6日（火）、7月7日（水））。</p> <p>(3) TOGOスポーツクラブ 各小学校において家族体力づくりの日を実施しました。</p> <p>2 スポーツ等指導者育成事業</p> <p>(1) スポーツ推進委員関係事業 スポーツ推進委員 23 名が、スポーツ振興のために、家族体力づくりの日（毎月第3日曜）などの各種スポーツイベントを主管して、町民に対してスポーツの実技指導や助言等を行いました。</p> <p>(2) 体力づくり推進委員関連事業 体力づくり推進委員 49 名が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質及び技術向上のため研修を実施しました。</p> <p>ア 体力づくり推進委員前期研修 令和3年7月18日 愛知池漕艇場及びトーゴーボートハウス 内容：ナックルフォア艇の乗艇及び救命救急講習 参加者数：体力づくり推進委員 8 名（新任委員のみ）</p> <p>イ 体力づくり推進委員後期研修 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>3 スポーツ事業開催事業</p> <p>(1) 町民ハイキング事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p> <p>(2) TOGO春のらららスポーツまつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。（日時：令和4年3月20日（日）、場所：各小学校区）</p>	

【総合評価】

- 1 スポーツ団体育成事業
引き続き、町内のスポーツ関係団体間やスポーツを通じた他分野の各種団体との連携を促進させるとともに、各スポーツ団体の育成も継続して行うことで、魅力あるスポーツイベントが町内で開催されるよう支援していきます。
- 2 スポーツ指導者育成事業
スポーツ指導者の資質向上は、地域スポーツの振興に繋がる重要事項です。今後も効果的な研修会を開催するなど、地域へスポーツを普及させるため、地域のスポーツ指導者を継続的に養成していく必要があります。
- 3 スポーツ事業開催事業
町民ハイキングは、コロナ禍における安全安心な実施方法を検討する必要があります。
TOGO 春のらららスポーツまつりについても同様に、コロナ禍において安心安全な開催方法を検討し実施する必要があります。

【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】

- 1 スポーツ団体育成事業
引き続き、町内のスポーツ関係団体の育成に努めるとともに、スポーツを通じた他分野の各種団体との連携について検討します。
- 2 スポーツ指導者育成事業
引き続き、効果的な研修を開催するなど、地域のスポーツ指導者を継続的に養成していきます。
- 3 スポーツ事業開催事業
町民ハイキングは、コロナ禍でも安全安心に参加していただける実施方法を検討していきます。
TOGO 春のらららスポーツまつりは、コロナ禍における安心安全な開催方法を検討するとともに、多くの人に参加していただける内容を企画検討していきます。

事業名	スポーツ交流事業
関連する重点施策	8-3 スポーツの普及・振興
事業の意図	<p>ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。</p> <p>愛知県市町村対抗駅伝において本町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。</p>
【主な実施内容】	
<p>1 愛知県市町村対抗駅伝事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。（県等主催事業）</p>	
【総合評価】	
<p>愛知県市町村対抗駅伝事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、本町が派遣する選手等の安全確保のため、コロナ禍における安全安心な実施方法を主催者とともに検討する必要があります。</p>	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
<p>愛知駅伝について、今後も引き続き、練習会を開催するなど、町代表チームとして育成強化するとともに、団結力の向上を図ります。</p> <p>また、コロナ禍における安全安心な大会の実施方法について、主催者とともに検討していきます。</p>	

事業名	体力づくり推進事業														
関連する重点施策	8-4 スポーツの普及・振興														
事業の意図	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。														
【主な実施内容】															
<p>体力づくり推進事業</p> <p>(1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放してTOGOスポーツクラブが主体となって家族体力づくりの日事業を行い、ビーチボール、ファミリー バドミントン、ドッジビー、グラウンドゴルフ等を行いました。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため12回中7回を中止しました。)</p> <p>(2) 「家族体力づくりの日」参加状況</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 東郷小学校区</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木台小学校区</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪小学校区</td> <td>243人</td> </tr> <tr> <td>エ 音貝小学校区</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>オ 高嶺小学校区</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>カ 兵庫小学校区</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>752人</td> </tr> </table>		ア 東郷小学校区	133人	イ 春木台小学校区	120人	ウ 諸輪小学校区	243人	エ 音貝小学校区	73人	オ 高嶺小学校区	114人	カ 兵庫小学校区	69人	合計	752人
ア 東郷小学校区	133人														
イ 春木台小学校区	120人														
ウ 諸輪小学校区	243人														
エ 音貝小学校区	73人														
オ 高嶺小学校区	114人														
カ 兵庫小学校区	69人														
合計	752人														
【総合評価】															
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともありましたが、町民の運動機会を創出することができました。</p>															
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】															
<p>より多くの町民の皆様に安心して参加してもらえるよう新型コロナウイルス感染症感染対策ガイドラインを徹底した上で、実施していく必要があります。</p>															

事業名	体育施設管理事業・総合体育館管理事業
関連する重点施策	9 体育施設の整備充実
事業の意図	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。 総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。
【主な実施内容】	
<p>1 体育施設管理事業</p> <p>(1) 体育施設一般管理事業</p> <p>ア 指定管理者制度</p> <p>(ア) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>(イ) 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>(ウ) 管理施設 町体育施設（町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場）</p> <p>イ 愛知池運動公園駐車場用地（7,039㎡）、町民運動広場用地（16,528㎡）及び境川緑地公園用地（982㎡）の借地料を支払いました。</p> <p>ウ 町民運動広場の駐車場を整備しました。</p> <p>エ 施設の利用実績は、合計4,730件（利用者39,583人）でした。</p> <p>(2) 愛知池漕艇場維持管理事業</p> <p>ア ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員3名を雇用しました。</p> <p>イ 施設の利用状況</p> <p>ボート・施設利用 34件（利用者数 290人）、大会開催数 10回</p> <p>(3) ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業</p> <p>ふれあい広場ゲートボール場用地（991㎡）の借地料を支払いました。</p> <p>2 総合体育館管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度</p> <p>ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>イ 指定期間 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで</p> <p>(2) アリーナの照明のLED化修繕を行いました。</p> <p>(3) 武道場屋根の雨漏り修繕を行いました。</p> <p>(4) エレベーター制御基盤取替修繕を行いました。</p> <p>(5) 総合体育館駐車場用地（1,389㎡）の借地料を支払いました。</p> <p>(6) 体育館利用実績は13,759件、利用者数は70,084人でした。</p>	
【総合評価】	
町内のスポーツ施設には限りがあるため、有効かつ効率的に利用できるよう指定管理者とともに検討していく必要があります。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
老朽化したスポーツ施設の修繕について、長寿命化計画に基づき計画的に実施していきます。	

事業名	給食センター管理運営事業
関連する重点施策	(1) 安全・安心でおいしい給食の提供 (2) 食に関する指導の推進
事業の意図	給食センター施設・設備等の適正な維持管理を行い、常に安定稼働させるとともに、安全安心でおいしい給食が提供できるようにします。
【主な実施内容】	
<p>(1) 魅力あるおいしい給食づくり</p> <p>ア 献立委員会や物資選定委員会より出された意見やこれまでの反省等を元に、旬の食材や地元食材を活用した給食を提供しました。</p> <p>イ 運営委員会を開催し、センターの運営について審議しました。</p> <p>(7) 開催日 令和3年6月下旬</p> <p>(4) 主な内容 令和元年度事業報告、令和3年度事業計画、学校及び保育園の栄養指導計画、給食費の定額制、給食用物資納入登録業者の登録</p> <p>(7) 運営委員 各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の会代表、こども健康部長、教育部長</p> <p>(2) 食に関する指導の推進</p> <p>小学校低学年には食べる姿勢や箸の使い方等を、中学校3年生には栄養素や食習慣等をテーマに指導を行いました。</p> <p>(3) 家庭や地域との連携を密にした給食の推進</p> <p>ア 食育だより「いただきます」を各家庭に配布し、望ましい食生活を啓発しました。また、読者を増やすため発行月の献立表の裏面に印刷をしました。</p> <p>イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。</p> <p>(4) 衛生管理の徹底、食中毒防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター内の職員全員（委託業者含む）の検便検査（サルモネラ、赤痢、0-157、冬季はノロウイルス）を月2回実施しました。 ・小中学校のバットを保温保冷バットに更新し、集団食中毒の予防につなげました。 ・衛生管理を徹底させるため、給食センター本館の検収室前プラットフォームに前室を確保するビニールカーテンを設置しました。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理配送等業務について事業者と契約を行いました。 ・老朽化が進んだ食缶洗浄機及び消毒保管機を更新しました。 ・給食センター本館の劣化に伴う屋上防水補修工事を実施しました。 	
【総合評価】	
給食センターの運営について、効率的な運営、維持管理を行いました。また、衛生管理を徹底させるため、給食センター本館の検収室前プラットフォームに前室を確保するビニールカーテンを設置しました。安全安心で日本一美味しい給食に向け、地産地消食材、有機食材を積極的に活用しました。	
【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】	
安全安心で美味しい給食の提供に向け、老朽化が進んだコンテナイン消毒保管機及び高速度ミキサーの更新を行います。	

事業名	小学校給食事業・中学校給食事業
関連する重点施策	(1) 安全・安心でおいしい給食の提供 (2) 食に関する指導の推進
事業の意図	児童生徒の健全な発達に資するため、安全・安心で栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

【主な実施内容】

(1) 提供食数 () 内はR2年度実績

ア 小学校※ 564,866食 (522,589食) イ 中学校 257,431食 (234,035食)
ウ 合計 822,297食 (756,624食) ※ ハトルとうごう、給食センター職員等

(2) 献立作成の重点

ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。
イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。
ウ 年中行事等にちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。
エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さを啓発しました。
オ 児童の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を6回実施しました。

(3) 応募献立

児童生徒に給食への関心高めてもらうため、テーマを決め、献立を募集しました。受賞献立については、給食として提供しました。

ア テーマ「東郷のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」
イ 受賞献立数 12献立 (小学生1献立、中学生11献立)

(4) 地場産物の使用状況

地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。(使用食材15品目)
また、地産地消推進事業として東郷町産食材8品目は、公費により給食を提供しました。

主な食材名	使用月	使用した献立名
ローゼル(※)	6	東郷町産ローゼルタルト
米(※)	4~2	東郷町産お米のタルト、米粉のオムレット、にこにこ米粉カレー他
かぼちゃ(※)	12	東郷町産かぼちゃコロッケ他

※ 地産地消推進事業対象

(5) 有機野菜を使用した給食を実施しました。(使用食材9品目)

主な食材名	使用月	使用した献立名
小松菜	4~3	小松菜の米粉かき揚げ、小松菜と白菜のおひたし他
にんじん	9~3	五目あんかけ、にこにこ米粉カレー他

(6) 残菜量(かつこ内は前年度分)

給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。

ア 合計 8,788kg (前年度分6,373kg)
イ 内訳(かつこ内は前年度分) ※ハトル、給食センターは小学校分としております。

種 別	小学校			中学校		
	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)
総 量	6,086kg (4,489kg)			2,702kg (1,884kg)		
内 訳	1,357kg (2,452kg)	1,606kg (865kg)	3,123kg (1,172kg)	489kg (882kg)	844kg (378kg)	1,369kg (624kg)
1食 当たり	2.4g (4.7g)	2.8g (1.7g)	5.5g (2.2g)	1.9g (3.8g)	3.3g (1.6g)	5.3g (2.7g)
合 計	10.7g (8.6g)			10.5g (8.1g)		

(7) 公費負担

令和2年度より学校給食費の定額制を導入しました。(児童3,400円/月、教員等3,700円/月)

(8) 県産水産物学校給食提供推進事業により県から無償提供された県産食材を、お祝い給食等で提供しました。

【総合評価】

(1) 提供食数について

小学校、中学校ともにコロナウイルス感染症の影響による臨時休業等がなかったため、令和2年度よりも食数が増加しています。

(2) 献立作成の重点について

給食センターの取り組みを理解してもらえよう、給食だよりだけでなく、校内放送を通じて伝えたり、給食指導の際に直接話をしたりして、理解促進を図っています。

また、児童生徒の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を実施することで、みんなで食べられる安全・安心な給食を提供しています。

(3) 応募献立について

応募献立は、児童生徒の給食への関心を高めるためのもので、小学生138人、中学生78人の応募がありました。応募献立の実施は、児童生徒が自分の家の味や料理について考える良い機会になっています。

(4) 地場産物や有機野菜の活用について

使用食材の価格や規格、約5,300食分の確保といった問題があります。また、農作物は、天候等の自然的要因を受けやすく、安定した供給が見込めないこともあります。そんな中でも、児童生徒に少しでも安全安心、そして地元の食材を食べることの意義を感じてもらうため、今後も引き続き取り組んでいきます。

(5) 残菜について

残菜量は、前年度と比較して増加しています。喫食状況については、学校単位では残菜量が少なくても、ある学年、クラスだけが大量に残していたりすることもあります。季節によっても食欲の増減があるため、季節ごとに食べやすいメニューを取り入れるなど工夫していきます。

また、献立作成時には献立委員会での意見を反映させ、メニューに応じた味付けの工夫や改善を今後も引き続き行っていきます。

(6) 公費負担について

令和2年度から学校給食費の定額制を導入し給食費の一部を公費負担することで、児童生徒はじめ、保護者の教育費用の負担を軽減しました。

【本年度（令和4年度）以降の改善内容・方向性】

引き続き、安全安心で日本一美味しい給食の提供に向け、衛生環境の向上に努めながら、地産地消食材や有機食材を活用していきます。

また、令和2年度から始まった給食費定額制を定着させ、町財政を見ながら更なる保護者負担の軽減を検討していきます。

2 成果指標

教育委員会が実施した全事業のうち、実施自体が教育委員会の自主的・任意の事業について、成果を測定するため、目標値と実績値を掲げています。

(1) 学校教育課事業

【適応指導事業】

指標：学校復帰者

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	4人	5人	通室者の5割
令和元年度	0人	4人	
令和2年度	1人	4人	
令和3年度	1人	3人	

【高等学校等教育振興事業】

指標：申請率

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	80.54%	70.00%	対象者の7割
令和元年度	79.42%	70.00%	
令和2年度	73.94%	70.00%	
令和3年度	62.25%	70.00%	

【小中学校図書館整備事業】（中学校）

指標：生徒1人当たりの年間貸出冊数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	4.97冊	5.28冊	過去3年間の最大値
令和元年度	5.87冊	5.28冊	
令和2年度	6.57冊	5.87冊	
令和3年度	6.58冊	6.57冊	

【小中学校情報教育推進事業】（中学校）

指標：ICT支援員の配置人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	0人	0人	ICTに関する専門知識を有する支援員の必要人数
令和元年度	0人	0人	
令和2年度	1人	1人	
令和3年度	1人	1人	

【児童生徒指導事業】

指標：相談件数（SC及び心の教室相談員）

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	1,304人	1,291人	過去3年間の平均相談件数
令和元年度	1,551人	1,507人	
令和2年度	1,274人	1,560人	
令和3年度	1,304人	1,376人	

【小中学校図書館整備事業】（小学校）

指標：児童1人当たりの年間貸出冊数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	20.18冊	20.57冊	過去3年間の最大値
令和元年度	19.47冊	20.57冊	
令和2年度	19.98冊	20.57冊	
令和3年度	25.41冊	20.18冊	

【小中学校情報教育推進事業】（小学校）

指標：ICT支援員の配置人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	0人	0人	ICTに関する専門知識を有する支援員の必要人数
令和元年度	0人	0人	
令和2年度	1人	1人	
令和3年度	1人	1人	

(2) 生涯学習課事業

【家庭教育等推進事業】

指標：家庭教育等推進事業参加延べ人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	1,727人	1,663人	前年度実績
令和元年度	1,844人	1,727人	
令和2年度	804人	1,844人	
令和3年度	639人	804人	

【文化団体育成事業】

指標：各部の活動回数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	601回	537回	前年度実績
令和元年度	578回	601回	
令和2年度	270回	578回	
令和3年度	487回	270回	

【音楽祭開催事業】

指標：音楽祭参加個人・団体数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	23団体	22団体	前年度実績
令和元年度	14団体	23団体	
令和2年度	0団体	14団体	
令和3年度	8団体	0団体	

【歴史民資料事業】

指標：ガイドツアー延べ参加者数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	215人	161人	前年度実績
令和元年度	263人	215人	
令和2年度	0人	263人	
令和3年度	79人	0人	

【図書館管理運営事業】

指標：貸出冊数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	153,722冊	151,936冊	前年度実績
令和元年度	133,877冊	153,722冊	
令和2年度	72,632冊	133,877冊	
令和3年度	130,954冊	72,632冊	

【青少年健全育成事業】

指標：各地区青少年健全育成行事参加者延べ人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	19,486人	24,587人	前年度実績
令和元年度	16,698人	19,486人	
令和2年度	846人	16,698人	
令和3年度	936人	846人	

【公民館文化ふれあい事業】

指標：公民館文化ふれあい事業の入場者数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	966人	1,221人	前年度実績
令和元年度	905人	966人	
令和2年度	232人	905人	
令和3年度	400人	232人	

【各種教室開催事業】

指標：年間受講者延べ人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	813人	950人	前年度実績
令和元年度	706人	813人	
令和2年度	90人	706人	
令和3年度	332人	90人	

【町民会館文化ふれあい事業】

指標：町民会館文化ふれあい事業入場者数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	2,172人	1,589人	前年度実績
令和元年度	982人	2,172人	
令和2年度	89人	982人	
令和3年度	327人	89人	

【スポーツ等指導者育成事業】

指標：ニュースポーツ指導日数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	23日	23日	前年度実績
令和元年度	21日	23日	
令和2年度	5日	21日	
令和3年度	5日	5日	

【図書館管理運営事業】

指標：貸出冊数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	153,722冊	151,936冊	前年度実績
令和元年度	133,877冊	153,722冊	
令和2年度	72,632冊	133,877冊	
令和3年度	130,954冊	72,632冊	

【スポーツ等指導者育成事業】

指標：ニュースポーツ指導日数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	23日	23日	前年度実績
令和元年度	21日	23日	
令和2年度	5日	21日	
令和3年度	5日	5日	

【スポーツ団体育成事業】

指標：補助団体大会の開催数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	89回	84回	前年度実績
令和元年度	74回	89回	
令和2年度	18回	74回	
令和3年度	35回	18回	

【体力づくり推進事業】

指標：家族体力づくりの日の平均参加人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	212人	212人	過去3年間の平均値
令和元年度	212人	212人	
令和2年度	243人	211人	
令和3年度	150人	222人	

【各種スポーツ教室開催事業】

指標：スポーツ教室参加人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	50人	21人	過去3年間の平均値
令和元年度	163人	35人	
令和2年度	96人	82人	
令和3年度	96人	103人	

【体育施設管理事業】

指標：町体育施設の利用延べ人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	54,058人	46,005人	前年度実績
令和元年度	50,211人	54,058人	
令和2年度	23,901人	50,211人	
令和3年度	39,583人	23,901人	

【総合体育館管理事業】

指標：総利用人数

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	116,834人	115,741人	過去3年間の平均値
令和元年度	107,446人	116,834人	
令和2年度	46,730人	107,446人	
令和3年度	70,084人	46,730人	

(3) 給食センター事業

【小中学校給食事業】（小学校）

指標：小学校給食満足度

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	78.70%	79.90%	過去3年間の平均値
令和元年度	76.30%	79.30%	
令和2年度	77.00%	78.00%	
令和3年度	82.60%	77.30%	

【小中学校給食事業】（中学校）

指標：中学校給食満足度

年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平成30年度	68.20%	66.90%	過去3年間の平均値
令和元年度	71.60%	67.50%	
令和2年度	75.00%	69.00%	
令和3年度	79.60%	71.60%	